

令和 6 年度

大垣市留守家庭児童教室運営委員会 会議録

日 時	令和 7 年 2 月 5 日（水）10 時 00 分～11 時 30 分
場 所	大垣市役所 6 階 教育委員会室
次 第	1 開会 2 教育委員会あいさつ 3 運営委員会委員紹介 4 会長及び副会長の選出 5 会長あいさつ 6 議事 (1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について (2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について (3) 自己評価について (4) アンケート（案）について 7 閉会
出席者（敬称略）【委員 8 名、事務局 6 名 計 14 名】	
・ 大垣市留守家庭児童教室運営委員会委員 光井 恵子、平野 宏司、垣添 忠厚、山本 稚香子、井上 直美、 河瀬 実浩、荒川 裕子、大江 由美子	
・ 事務局 平松 善幸（教育委員会事務局長）、林 昭義（社会教育スポーツ課長）、 小倉 伸子（同課参事）、田島 善之（同課主幹）、 大橋 基弘（同課主事）、酒井 大典（同課主事）	
欠席者（敬称略）【委員 1 名】 藤塚 茂之	
傍聴者【2 名】	
事務局	1 開会（略）※議事以外の司会進行
事務局長	2 教育委員会あいさつ（略）
事務局	3 運営委員会委員紹介 ・ 委員の紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席委員の報告
事務局	<p>4 会長及び副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員互選により、光井恵子会長、平野宏司副会長を選出（大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例施行規則第11条第3項）
会長	<p>5 会長あいさつ（略）</p>
事務局	<p>6 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議録作成に係る録音について ・会議録の市ホームページへの掲載について ・会長に議事進行の依頼（大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例施行規則第11条第4項）
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員数及び審議会成立の報告（大垣市留守家庭児童教室の設置等に関する条例施行規則第12条第2項） ・傍聴者の報告※傍聴者2名
会長	<p>『議事(1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について』事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※ 『議事(1) 大垣市留守家庭児童教室の状況について』（資料P2～P9）を説明</p>
会長	<p>議事(1)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>綾里留守家庭児童教室の1年生の利用率が高いことについてなにか要因はあるのか。</p>
事務局	<p>正確な分析等はないが、住宅地の増加が一因として考えられる。</p>

副会長	大学生の雇用について、触れられていたが具体的な学生の位置づけについて教えていただきたい。
事務局	学生は無資格の指導補助員として従事していただいている。
会長	『議事(2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について』委員から説明をお願いします。
委員	※『議事(2) 大垣市民間放課後児童クラブの状況について』(資料 P 10～P 11) を説明
会長	議事(2)について、委員から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	振替休業日も開設しているとあったが、各学校で振替休業日が異なると思うがどのようにしているのか。
委員	年度初めに登録児童の保護者に振替休業日の確認を行い、開設を行っている。学校によって振替休業日が異なるため、受け入れ人数が1人になる日もある。
会長	『議事(3) 自己評価について』事務局及び委員から説明をお願いします。
事務局	※『議事(3) 自己評価について』(資料 P 12～P 13) を説明
委員	※『議事(3) 自己評価について』(資料 P 12～P 13) を説明
会長	議事(3)について、事務局及び委員から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	昨年度の課題に対して、重点的に取り組み、丁寧な運営をされていることが分かる。運営側として現場の指導員の先生からの課題や改善の要望についてはなにかあるか。

事務局	<p>また、別件になるが、先ほどの説明の中で出てきた「スマイルブック」について、どの市町村でもサポートブックと呼ばれるものを作成している中で、大垣市が「スマイルブック」という非常に良いものを作成している。そして、それを実際に活用している事例を聞くことが出来て、素晴らしいことであると思う。</p> <p>現場の指導員に対しては、最低年1回は面談の機会を設け、指導員の希望や事務局が必要と判断した場合は、その都度、面談を行っている。</p> <p>高年齢化に伴い、週5勤務が困難になっている現状や、他との兼務(ダブルワーク)を求める声がある。</p> <p>現状を受け、週4勤務の導入や勤務時間の調整等、継続して働くことのできる体制の整備を進めている。</p>
委員	<p>どろんこ子どもクラブの熊野町における長期休業期間中の開設について、もっと自治会や民協にもPRしていくことで、地域との協力体制の構築に繋がっていくのではないかと。</p>
委員	<p>今後、自治会とも連携していけるように会議等でお話しさせていただく。</p>
会長	<p>熊野町のほうは、宇留生校区の方が多いのかな。</p>
委員	<p>通勤経路の途中で利用を希望する方も多いため、一概には言えない。どうしても安井校区の方が中心にあるため、そちらを希望する方が多く、人数に偏りが出ている。</p>
委員	<p>資料からも分かるように、特別に支援を要する児童が増えてきている現状がある。学校としても、今後も連携しながら進めたいと考えるが、留守家庭児童教室においても障がい児に対する指導員の加配にさらに注力していただけるとよい。</p>

委員	<p>留守家庭児童教室指導員について、勤務時間の都合上、非正規の雇用である一方、高い資質が求められる仕事であり、大変現場の指導員はご苦労されていると思われる。</p> <p>現状は、昔の預かりボランティア的な感覚ではなく、教員と同程度の資質が求められている。指導員の高齢化や人数の減少が進んでいる中で、この先の取組みが重要である。例えば、教員をご退職された方への声掛けといった仕組みづくりが挙げられる。ニーズが高まる中で、これからの持続可能な事業の継続に向けた働きかけが重要である。実際に我々が学生を送り出したとしても、学生の立場であり、運営を任せることまではできないと思うし、新卒の仕事としてもなかなか難しい部分がある。子育て日本一を掲げる大垣市として、先駆的に何か手を打っていくことが今後求められている。</p>
委員	<p>先ほど、事務局から週4勤務の導入について話があったが、逆に週1勤務の採用等はしているのか。</p>
事務局	<p>そのような雇用は行っていない。ただし、学生は学業が本分のため大学生の雇用に関してはその限りではない。</p>
委員	<p>災害時の対応や不審者対応について、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>不審者の対応については、各教室で合言葉を事前に定めており、各自で役割分担を行う等対応を行っている。</p>
委員	<p>年2回ほど災害時における避難訓練を実施している。また、災害ダイヤルも実際に活用し、実際に想定した訓練となっている。不審者の対応については、職員間での研修を実施している。</p>
会長	<p>避難訓練等の災害時対応については、学校では取り決めがあつて行っていると思うが、留守家庭児童教室ではどうか。また、大垣市は学校が避難所となっており、保護者としては安心な部分であるとは思いますが、現場の指導員と保護者への周知徹底はなされているのか。</p>

事務局	<p>訓練については、過去の事例を踏まえながら定期的に行っている。また緊急対応については、事務局としてはまず保護者との連絡確保を第一としているため、入室申請時には必ず複数箇所の緊急連絡先を確認している。しかしながら、先ほどの話にもあった通り、大垣市は学校が避難所に設定されている。その中で、大規模災害が発生した際における最終的な対応については定まっておらず、自己評価の項目もB評価となっている。</p>
会長	<p>基本的には、学校に即した形の対応になるとは思われるが、大規模災害が起きた際については、早急な対応が必要である。</p> <p>評価については、C評価やB評価からA評価への改善など、評価できる点が見受けられる。</p>
委員	<p>大垣市は教育委員会が留守家庭児童教室を所管しているため、学校との連携が取りやすいと思われる。平日の放課後等、学校の先生がおられる時間帯における対応についての取り決めを事前に行っておくと、保護者も安心だと思う。</p>
会長	<p>『議事(4) アンケート(案)について』事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※『議事(4) アンケート(案)について』(資料P14)を説明</p>
会長	<p>議事(4)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>留守家庭児童教室について、働く保護者の様々なニーズに应运えていただきありがたく思う。保護者の立場で、実際に留守家庭児童教室を利用している周りの保護者からの思いをお伝えさせていただく。放課後の時間に預かっていただけること、そしてその時間の中で宿題を行っていることは非常に助かっている。しかし、安全面の都合上、体をつかって遊ぶ時間が少ないこと等を理由に、2・3年生で留守家庭児童教室を退室し、鍵</p>

	<p>っ子になる児童もいる。また留守家庭児童教室を利用するため、保護者が働き方を変更したりしている現状がある。</p> <p>先ほどの資料(7 ページ)の中で、綾里小学校の入室率をみると、1年生から学年が上がるにつれて、入室率に大きな開きが生じている。推移ではないため分からないが、どのように捉えているのか。また、アンケート実施の取組みは保護者と児童の意見を聞く良い機会である。今回は現在入室中の方を対象にしているが、退室された方にも聞くことができるとより様々な意見が聞けるのではないかと思った。</p>
事務局	<p>退室された方に直接何かを伺ったりはしていないが、退室時に提出していただく書類に退室事由を記入する欄があるため、全てではないと思うが、思いを確認することが出来ると思われる。</p>
会長	<p>保護者アンケートで、今現在入室しているお子さんの学年は聞かないのか。</p>
事務局	<p>学年を確認する項目を追加修正する。</p>
会長	<p>児童用の自由記述欄はないのか。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは回答のしやすさを優先しているものである。</p>
会長	<p>アンケートの目的は、自己点検の評価基準用か実際の声を聴くためのものか。</p>
事務局	<p>子ども家庭庁からも示されているように、「子どもの意見」を聞くことを目的としており、多くの子どもが回答しやすいように簡易なアンケートにしているが、今後検討させていただきたい。</p>
会長	<p>その他何かありますでしょうか。</p>

事務局	<p>それぞれの立場からの、貴重なご意見をいただきまして有難うございました。以上をもって全ての議事を終了します。この後の進行を事務局にお返しする。</p> <p>7 閉会</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりご審議をいただき、感謝しています。委員の皆様から頂戴した貴重なご意見をもとに、今後もより良い教室運営に取り組んでいきます。</p>
-----	---